

# 第8章 計画の評価及び進捗管理

## 8-1 定量的評価指標及び目標値の設定

### (1) 評価指標の設定方針

本計画の進捗を管理するため、定量的に把握が可能な評価指標を設定します。この定量的評価指標は、第3章で定めたまちづくりの方針及び誘導方針の進捗を測るものとしします。また、定量的評価指標に加え、誘導施策の実施により期待される効果を測る指標を設定します。

図表 8-1 評価指標の設定方針



## (2) 評価指標の設定

前項の評価指標の設定方針を踏まえ、評価指標を以下のように定めます。

評価指標の設定にあたっては、第6次大府市総合計画（目標年度：令和12（2030）年度）に定められた施策評価指標と整合を図ることとします。

なお、第6次大府市総合計画と同一の評価指標については、本計画の第1回中間評価時（令和12（2030）年度）において、第7次大府市総合計画の施策評価指標と整合を図り、目標値を設定することとします。

図表 8-2 「都市拠点における市民生活の質を向上する魅力的なまちづくり」に係る指標

| 評価指標                                          | 現状値              | 中間目標値(令和12年度) | 目標値(令和22年度) |
|-----------------------------------------------|------------------|---------------|-------------|
| 都市機能誘導区域に新たに立地する誘導施設数（累計）                     | 0 件<br>(令和3年度)   | 2 件           | 4 件         |
| 効果を測る指標（アウトカム）                                |                  |               |             |
| 「駅周辺のにぎわいづくりに満足している」市民の割合<br>※総合計画施策評価指標 P113 | 21.1%<br>(令和2年度) | 40%           | 向上          |

図表 8-3 「ライフステージに応じて健康に暮らせるまちづくり」に係る指標

| 評価指標                                               | 現状値                  | 中間目標値(令和12年度) | 目標値(令和22年度) |
|----------------------------------------------------|----------------------|---------------|-------------|
| 居住誘導区域の人口密度                                        | 64.6 人/ha<br>(令和3年度) | 70 人/ha       | 70 人/ha     |
| 効果を測る指標（アウトカム）                                     |                      |               |             |
| 「身近な地域で生活しやすいまちの形成に満足している」市民の割合<br>※総合計画施策評価指標 P91 | 56.5%<br>(令和2年度)     | 60%           | 向上          |
| 「快適な住環境の整備に満足している」市民の割合<br>※総合計画施策評価指標 P93         | 50.1%<br>(令和2年度)     | 55%           | 向上          |

図表 8-4 「多様な交通手段によるネットワークの充実」に係る指標

| 評価指標                                                                   | 現状値                  | 中間目標値(令和12年度) | 目標値(令和22年度) |
|------------------------------------------------------------------------|----------------------|---------------|-------------|
| 循環バスの年間利用者数<br>※総合計画施策評価指標 P119<br>※中間目標値は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み下方修正している。 | 152,062 人<br>(令和3年度) | 166,000 人     | 向上          |
| 効果を測る指標（アウトカム）                                                         |                      |               |             |
| 「バスや鉄道などの公共交通の整備に満足している」市民の割合<br>※総合計画施策評価指標 P119                      | 32.5%<br>(令和2年度)     | 40%           | 向上          |

図表 8-5 「災害に強く持続可能な都市構造の構築」に係る指標

| 評価指標                                          | 現状値              | 中間目標値(令和12年度) | 目標値(令和22年度) |
|-----------------------------------------------|------------------|---------------|-------------|
| 治水対策量の達成率<br>※総合計画施策評価指標 P81                  | 64.9%<br>(令和3年度) | 72%           | 向上          |
| 効果を測る指標（アウトカム）                                |                  |               |             |
| 「公共施設の充実に満足している」市民の割合<br>※総合計画施策評価指標 P123     | 47.9%<br>(令和2年度) | 50%           | 向上          |
| 「水害に強い都市基盤の整備に満足している」市民の割合<br>※総合計画施策評価指標 P81 | 38.8%<br>(令和2年度) | 40%           | 向上          |

## 8-2 計画の進捗管理

### (1) 推進体制

本計画の内容は多分野にわたるため、各担当部局と連携するとともに、国、県、鉄道事業者などの関係機関との調整を図りながら計画を推進していきます。

また、誘導施策の推進について、本計画の策定主体である市が中心となることを前提としますが、地域や民間事業者との協力が必要不可欠であるため、多様な主体と連携しながら計画を進めます。

### (2) 進捗管理の方法

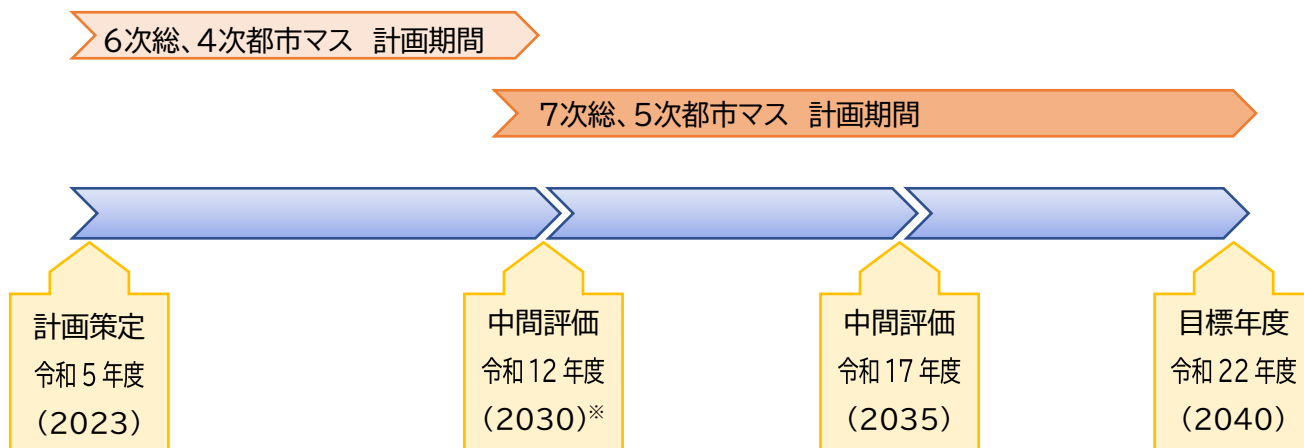
本計画は、概ね20年後の令和22（2040）年度を目標とする長期的な計画です。このため、計画期間の最後に評価を行うだけでなく、本計画に定めた誘導施策の進捗状況や評価指標の推移などについて、定期的に調査及び分析を実施します。

また、定期的な調査及び分析の結果に基づき、本計画の妥当性を検証し、必要に応じて誘導施策や評価指標などの見直しを行い、柔軟で機動的な進捗管理を行います。

### (3) 進捗管理のスケジュール

進捗管理は、概ね5年ごとを目安に実施します。また、PDCAサイクルにより、誘導施策の進捗状況や評価指標の推移などを把握し、必要に応じて誘導施策や評価指標などの見直しを行います。

図表 8-6 進捗管理のスケジュール



※第6次大府市総合計画と同一の評価指標については、本計画の第1回中間評価時（令和12（2030）年度）において、第7次大府市総合計画の目標値とともに、設定することとします。

図表 8-7 PDCAサイクル

